

未来・ねりまニュース

平成27年1月

第12号

社会福祉法人未来・ねりまを支える会会報

目次

コラム「26年度下期にあたって挨拶」	 P 1、P 2
事務局だより.....	P 2
ねりま事業所だより.....	P 3
ねりま第二事業所だより.....	P 4
ねりま高松事業所だより.....	中紙表
幼児教室とことこだより.....	中紙裏
相談支援事業所だより.....	中紙裏

発行所 社会福祉法人未来・ねりま

〒176-0024 練馬区中村 1-7-10 マーベラスA101 号

TEL 03-3577-8657 FAX 03-3577-8659

(tel)

法人本部 E-mail honbu@mirai-nerima.or.jp

ねりま移行支援 E-mail ikou@mirai-nerima.or.jp

03-3948

ねりま継続支援 E-mail keizoku-1@mirai-nerima.or.jp

-0275

ねりま第二 E-mail keizoku-2@mirai-nerima.or.jp 03-3921-6382

ねりま高松移行 E-mail ikou-2@mirai-nerima.or.jp

03-5848

ねりま高松継続 E-mail keizoku-3@mirai-nerima.or.jp

-8311

ねりまGH高松 E-mail guru-puh-1@mirai-nerima.or.jp 03-5848-8347

幼児教室とことこ E-mail youji-1@mirai-nerima.or.jp 03-3995-6901

未来・ねりまが目指すこと

理事長 眞保 真人

未来・ねりまは、一昨年高松事業所グループ

ホーム高松を開設し、幼児から成人までの障害

者が地域で暮らす基盤の整備をはかりました。

これから法人が目指すことは、国が整備した

障害者関連法をいかに地域で使い勝手をよくし

て、毎日の地域生活を豊かにしていくかという

ことです。

そのためには、親の会活動や法人の相談活動、

地域の関係、社会資源と密接に連携していくこ

とが大切であると思います。

平成二六年度下期に向かって

ねりま高松事業所兼ねりまグループホーム高松

施設長 齋藤 洋

ねりま高松事業所及びねりまグループホーム高

松は本年十月一日に利用者、保護者、理事長他各施

設長列席の下、一周年記念行事として、利用者自身

の一年を振り返りの発表を行いました。成長した利用

者の発表を聞いて感激される保護者もおられ、これ

もひとえに皆様方の絶大なるご支援の賜物と感謝

しています。

高松事業所利用希望の方が増えて、現在二十五名

の方が通われています。また、グループホーム高松

は女子三名、男子一名の定員四名で利用者、保護者、

世話人とも非常に良い関係づくりが出来、家庭的な

雰囲気の中でも、生活自立に向けての支援を行って

います。このような安定した状況の下、下期に向か

って、就労支援、工賃向上の取り組みを強化して行

きたいと考えています。

一地域法人の思い

事務局長 朝生 修一

自主生産等による利用者の工賃アップや、親の

会などから強い要望のあるグループホームなどの

運営・拡充、そして人材の確保、適切な処遇など、

未来・ねりまを運営していく上で、実に様々な課

題がある。この解決のためには、法人内全体で知

恵を出しあい、協力しあう体制づくりが必要です。

一方、これらの課題は、当法人のものだけではなく、

地域の人材に共通する課題でもあります。

私たちは協議会組織を有していることから、これ

らの組織を上手に活用して解決のためのヒントを

得たいと思います——利用者、そしてご家族のご

期待に応えるために。

いつでも「あかるく、元気に、楽しく」

ねりま事業所 施設長 高谷 好文

ねりま事業所では、就労移行、継続B型合わ

せて四十人。十九才〜七十才、近々就職を目指

す人、無理なく元気に通う人、様々な人が通所

しています。月に一度のグループ別余暇活動（ふ

りかけ）を楽しみにしています。十二月にはク

リスマスリースやフラワーアレンジメントを作

ったグループ、池袋に外出したグループ等があ

りました。「あかるく、元気に、楽しく」を合言

葉に、地域で自分の活動の場所を得ています。

事業所を楽しい居場所に

ねりま第二事業所 施設長 冬木 邦二

四月に着任して半年以上が経ちました。この間、感じたことは、利用者さんがよく挨拶をし、作業にもよく集中する、ということです。特にここ数年は、工賃アップを目標に利用者さんも職員もがんばってきました。

今後は、「事業所は作業をする所」だけではなく、「楽しい居場所」にもしていきたいです。

中断していた音楽活動、プール活動を再開し、七月からはクラブ活動を新設しました。利用者さんの希望で「お出かけクラブ」、「パソコンクラブ」、「料理＆手芸クラブ」と、三つのクラブができ、それぞれ相談をしながら楽しい活動をしています。利用者さんの余暇活用の方にまで繋がってほしいと願っています。

新入室児・卒室児

幼児教室とことこ室長 児玉結花

幼児教室の一年は「あつ」という間です。

年が明けると、新年度の入室に向けて、新入室児説明会、新入室児の決定、受け入れの準備というめまぐるしい毎日です。それと並行して、卒室する子ども達の締めくくりに向けての療育やお別れ遠足、お別れ会の行事が続きます。昨年面接をしたほとんどの子たちがもう巣立っていくことになりました。

たった一年の療育でも親子にとっては密度の濃い月日。随分大きくなった子のママに逢うと「幼児教室があったから。」と言ってもらえることが一番の存在価値かもしれません。

事務局だより

○平成 26 年度の上半期の事業活動のあらまし

ねりま事業所の就労移行支援事業は、2 名就労しました。就労継続支援事業は、36 名の利用者に対し、5 月に作成した個別支援計画に基づき支援を行いました。また、喫茶事業「ゆうゆう」の看板を新しくするなど、設備改善を実施しました。ねりま第二事業所では、自主生産活動に向けビニールハウスを設置したほか、広報活動の充実に努め、「ねりにっこ新聞」を発行しました。ねりま高松事業所の就労移行支援事業は、4 月に 1 名の就労がありました。また、自主生産品である絵本やカレンダーなどの販売会も4回行いました。就労継続支援事業は、4 月に利用者 12 名でスタートしましたが、6 月に新規利用者 2 名が加わり 14 名の利用者となりました。グループホーム高松は、4 名の利用者が地域生活の場として、自立生活に向け取り組んでいます。児童発達支援事業として 2 年目の幼児教室とことこは、定員 10 名のところ上半期平均 12.5 名の幼児が療育を受けています。ねりま相談支援事業所は、法人内の相談 46 件、法人外の相談が 31 件あり、合計の相談件数は 77 件でありました。

○平成 26 年度下期事業修正計画について

人事施策の充実のため、各事業所の職員体制の確立を図るとともに、法人の事業基盤強化策として、開設から 1 周年を迎えたねりま高松事業所の安定運営をめざします。ねりま第二事業所では、グループホームの見学会を実施するほか、相談室の有効活用など施設改善を行っています。ねりま高松事業所では、就労移行、就労継続支援事業とも、清掃事業の受託事業件数・回数増等に取り組み、工賃アップに努めています。ねりま相談支援事業所では、計画相談業務の効率化とモニタリング手法の確立のため、各支援機関との連携強化を図ります。

支える会だより

○社会福祉法人未来・ねりまを支える会入会のご案内

＜目的＞ねりま事業所、ねりま第二事業所、ねりま高松事業所、幼児教室等の充実発展と利用者支援に寄与すること。

＜会 員＞ 利用者・保護者、役員・職員・お取引業者等の法人関係者、親の会会員等でどなたでも入会出来ます。

＜年会費＞ 1 口 2,000 円ですが、希望口数としては、個人 1 口以上、団体・企業等 5 口以上でお願いしています。

＜振替口座＞ 郵貯 00110-4-544768 社会福祉法人未来・ねりまを支える会(払込料金は会負担で手数料は無しです)

＜お問い合わせ＞ 練馬区豊玉中 4-10-6(社福)未来・ねりま ねりま事業所内 TEL3948-0275 FAX3948-5864 支える会事務局(齋藤、江連)にご連絡下さい。入会申込書兼入会受付書及び会則をお送り致します。

ねりま事業所だより

現在、40名の利用者が「明るく・元気に・楽しく」をモットーに通ってきています。仕事（受注・清掃）に追われる中、行事や余暇活動も行い充実した日々を送っています。11月に施設公開（ねりたま祭り）が、関係者・地域の皆様のおかげで盛況に終わりました。この1年もたくさんの方々に支えられ、笑顔で活動することが出来ました。今後も地域に必要と思われる取り組みを皆とともにしていきたいと思ひます。

5月31日 区内合同運動会

★活動紹介★

6月27日 日帰りバスハイク



猛暑の中で、頑張りました！今年
は引き分け。
来年こそは…。



清里のブルーベリー、ラベンダー狩りを楽しみました！

8月1日 納涼福祉盆踊り



小学校の体育館で練習し、太鼓を披露しました！

10月2・3日 宿泊訓練



福島の復興の応援で行きました。ホテル最高！



三匹の妖精！

12月6日 障害者フェスティバル



たくさん練習をして大成功！！

★余暇活動紹介★

5月22日・10月31日 マリンバ



毎月1回 グループ別余暇活動「ふりかけ」

寺子屋



音楽



家庭科



運動



外出



就労移行支援では12月にねりま事業所から就労された方々の会社を訪問し、様子を伺うとともに、それぞれの仕事を見学させていただきました。今回は、(株)第一硝子(板橋区)、養老乃瀧(株)・(株)ライフコーポレーション(豊島区)の3社へ伺いました。工場内の清掃、ビルフロアの清掃、スーパー商品の陳列整理などそれぞれが自分の役割の中で元気に働いていました。先輩の働く姿はこれから就労を目指していく移行支援メンバーにも今回の見学はとても充実した活動になりました。

勤続20年の表彰
佐藤 美希代さん
これからも毎日通所して、お仕事頑張ります。



ねりま第二事業所だより

10月に、^{こみやま ひろこ}小宮山 弘子さんが新しい仲間として加わり、利用者さんの人数は34名になりました。
今年度より、いままで中断していた「音楽教室」、「プール活動」を再開し、また、新しく3つの「クラブ活動」を開始しました。
各クラブの名称は利用者さんが皆で話し合って決め、自分が興味のあるクラブへ入り、「まずは楽しむ！」をモットーに
担当職員と一緒に活動をしています。お楽しみが増え、事業所内での生活に、よりメリハリが出てきました。

◆新人さんの紹介◆



^{こみやま ひろこ}小宮山 弘子です。AKBのビデオを観たり、洋服を見たり買ったり、ドライブも好きです。食べ物では、カレーライスが大好きです。よろしくお願いします♪♪

◆レクリエーション活動の紹介◆

○音楽教室○

2ヶ月に1回、講師に音楽療法士の^{くらがの みなこ}倉賀野 実奈子先生をお呼びして、皆で歌ったり、ダンスをしたり、楽器で演奏したりして楽しんでいます。



○プール活動○

毎月1回希望者を募り、車で三原台温水プールへ行きます。
泳いだり、プール内をゆっくり歩いたりして皆自由に楽しんでいます。



○クラブ活動○

①おでかけクラブ

クラブの皆で行ってみたいところを事前に話し合い、実際にそこへお出かけをします。これまで、ラウンドワンでスポーツを楽しんだり、池袋までボーリングへ行ったり、おしゃれなイタリアンレストランでランチビュッフェを堪能したりしました。



②パソコンクラブ

パソコンで文字を打つ練習をしたり、イラストを描いたり、
行事の感想をまとめた新聞を作成したりしています。
皆の希望で、取材で光が丘公園へ行って園内撮影もしました。



③はあとどきどき 料理&手芸クラブ

手芸と料理の二つを楽しめる、お得なクラブです。
手芸ではショルダーバッグ、料理ではチョコレートパフェ、
ピザを皆で協力して作り、おいしくいただきました。



ねりま高松事業所／ねりまグループホーム高松だより

祝！1周年



ねりま高松事業所／ねりまグループホーム高松は10月1日に開設一周年をむかえました。

《開所1周年記念行事》



ねりま高松事業所一周年記念行事では、皆で会食。豪華なデザートに歓声が上がりました。



利用者全員がこの1年間の思い出を発表しました。
感動のスピーチでした！



ねりまグループホーム高松では一人一人の発表。歌あり、ダンスあり。大盛り上がりでした。最後は保護者の方も一緒に大熱唱！

記念行事と言えば豪華な食事！世話人が腕によりをかけ作りました。



宿泊訓練 in 長瀬



ライン下り、そば作り、大苦戦マス掴み・・・
山の中の宿は最高！

幼児教室とことこだより



～元気いっぱい！とことこのおともだち！～



今年は、夏の暑さや Dengue 熱のせいでなかなか行けなかった日課のお散歩に、出られるようになった子どもたちは元気いっぱい！とことこの周辺の緑道では色とりどりの葉っぱやどんぐりを集めて秋を楽しみました。イベント療育では、石神井公園で「葉っぱプール」や「枯葉スタンプラリー」をして親子でたくさん遊びました。これから寒い冬も、クリスマスや大型かるた大会、鉄道博物館の遠足など楽しい行事がいっぱいです♪



とことこの
活動風景



ねりま相談支援事業所だより

「ねりま相談支援事業所みらい」は、練馬区もしくは周辺の区にお住いの障害者や障害児、またはそのご家族の、地域生活の安定と社会的自立を支援する事業所として、平成25年7月に事業展開をしました。

現在は、専任の相談支援専門員1名、兼任の相談支援専門員2名で、特定相談支援事業と障害児相談支援事業の2事業に力を入れて活動しています。平成25年の1月から現在までの間に、約200件のご希望やお悩みを聞き、サービス等利用計画案に反映していきました。

地域に密着した相談支援事業所として、これからも職員の専門性を高め、他機関との連携を図ることで、練馬区に住む方々の力となれるように努力していききたいと思います。

住 所：練馬区中村1-7-10 マーベラスA101

TEL：03-3577-8658

FAX：03-3577-8659

E-mail：soudan-1@mirai-nerima.or.jp

アクセス：都営大江戸線・西武池袋線「練馬駅」から徒歩17分
京王バス・西武バス「南蔵院」から徒歩2分

